

イントラネット・スタートパック  
Ver7.1

IM-共通マスタを利用した場合のスタートパック  
のご利用について

初版 2011/7/12

### 變更履歷

[illegible]

## IM-共通マスタインポートとISPのリスナについて

IM-共通マスタにてインポート処理を行った場合のスタートバックの動作で以下の事象が発生します。

事象1. 全期間インポートの場合、アクセス権情報が壊れてしまい、全て全公開になってしまいます。

事象2. スタートバックで設定したアクセス権にて、最上位の組織のアクセス権設定に更新されてしまいます。

事象の原因は以下となります。

○ 事象1. 全期間インポートの場合、アクセス権情報が壊れてしまい、全て全公開になってしまいます。

■ 発生条件

IM-共通マスタにて全期間インポート処理を行った時

■ 詳細

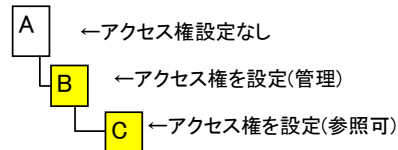
IM-共通マスタの全期間インポート処理は既存データの上書きではなく、データの再作成を行います。一度アプリケーション共通マスタのアプリケーション共通マスタとの同期処理を行った時、アプリケーション共通マスタでも、データを削除し再作成してしまいます。これにより、アクセス権とアプリケーション共通マスタのデータが紐づかなくなり、アクセス権が設定されていない状態(全公開)になってしまいます。

○ 事象2. スタートバックで設定したアクセス権にて、最上位の組織のアクセス権設定に構成されてしまいます。

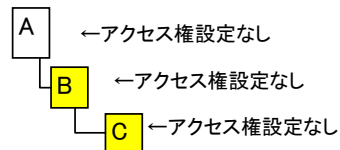
■ 発生条件

アクセス権を付与した組織とその最上位組織のアクセス権が異なっている場合

例1:



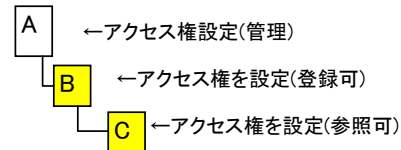
スナップショットインポートを行う。



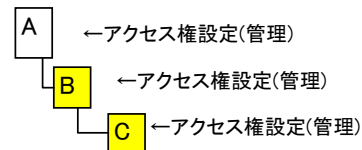
例1では全ての組織のアクセス権が設定なしになってしまいます。

例2では全ての組織のアクセス権が管理になってしまいます。

例2:



スナップショットインポートを行う。



■ 詳細

IM-共通マスタにてインポート処理を行った時、組織のアクセス権を削除してしまっています。組織のアクセス権を削除した後、再度親組織のアクセス権を複製しているため、本事象が発生します。